

五月祭ポケモンコマスターエキシビション

文責：サラマンダー武夫

はじめに

この記事は、2017年5月21日に行われたポケモンコマスタールームマッチエキシビションの構築や結果をまとめたものです。

ポケモンコマスターとは、スマートフォン向けに配信されているポケモンのアプリです。ゲームの内容としては、お互いが6つのフィギュアを用い、対戦相手の陣地にあるゴールへフィギュアを進めるというシンプルでありながら思考を要求する奥深いゲームとなっています。ここでは詳しい説明は省略しますが、興味がある方はぜひプレイしてみてください。

特別ルール

五月祭では、会員同士で相談して決めた特別ルールを用いて対戦をしました。2チームにわかれて団体戦を行い、さらにチームごとにフィギュアの被りは禁止とし、1人が使用できるレア度[EX]のフィギュアは1体、レア度[R]のフィギュアは2体としました。進化可能なフィギュアについては、その進化系列内で最もレア度の高いフィギュアのレア度を用います。プレートやチェーン、AIの使用については制限を設けていません。

チーム内フィギュアの割り振り

チーム分けは、工学部チーム(HAL、nope、ラスカル、なめくじ、Tst、F)と非工学部チーム(うい、ジルコン、Rethe、スス、サラマンダー武夫、皇帝)に分かれました。

工学部チームでは、まずはフィギュア資産の少ないnope、ラスカル、Tstの使用するフィギュアを優先的に決定し、Tstはくさタイプやひこうタイプのフィギュアが多めのトロピカルエナジーデッキを使用することになりました。HALは[EX]マナフィを中心にみずタイプのフィギュアで揃えたマナフィデッキを使用することにしました。Fは当初は[EX]フィギュアは[EX]ジュカインを使う予定だったものの、偶然[EX]コバルオンを3体手に入れたことからはがねタイプのフィギュアとまひの効果を持つフィギュアを多く採用したスチールエナジー+まひデッキを組みました。そしてなめくじが[EX]ジュカインを使用することになりました。

非工学部チームでは、最初に非常に強力な[EX]デオキシスAはチェーンの進んでいるRetheが使うことに決まりかけたのですが、議論の末、所持しているフィギュアの少ないういが使うことになりました。次に資産の乏しいサラマンダー武夫が[EX]コバルオンと[EX]ヒードランのどちらかをマテリアル交換しスチールエナジーデッキを組むことになりましたが、よりミス幅が狭く制限ルールでは貴重な金ワザを持つ[EX]コバルオンを選びました。そしてジルコン、スス、皇帝もチェーン数に応じて使用フィギュアを決定しました。最後に、Retheは自分のエントリーポイントに置いてポケモンを出すのに不自由ない[C]ハヤシガメや相手のエントリーポイントを取りやすい[EX]ファイヤーと[UC]カゲボウズを採用し[R]ゴチルゼルのワザ「グランドクロス」を効果的に用いることのできるデッキを組みました。